

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	①終末期に際して、本人、家族の具体的な意向の確認が十分に行われていない。 ②職員間で、看取りについての知識、理解のばらつきがある為個々に漠然とした不安があり、積極的に取り組めていない。	①看取りについて、本人や家族の意思確認の機会を本人の状況に応じて随時持つ。 ②看取りについて職員個々の知識、理解を深め、チームとして看取り支援に取り組む事が出来る。	①看取りについて事業所としての現在出来る事、出来ない事を十分に検討して方針を打ち出し、それに基づき家族との面談を行っていく。 ②定期的に看取りについての勉強会を行う。	36ヶ月
2	2	入居者さんが外出し、近隣の方との日常的な交流を持つ機会が、買い物時以外にあまり持たれていない。以前朝食後の洗濯物干しの際に職員と一緒に外へ出る目標を掲げたが、入居者さん全般の状態により、職員が付き添う事が難しくなっている。	買い物以外に、入居者と地域の方との交流を継続的に図ることが出来る。	買い物以外の外出について、時間帯、散歩コースの再検討を図り実行、状況をもとに調整する。買い物時にも、買い物の目的のみにとらわれない外出を検討する。	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。